

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」

2017年総目次(150～151号。全12号配信)

150号：2017.1.1(13頁)

1. 論文：地域医療構想をめぐる論点または留意点－日本医療経済学会研究大会シンポジウム報告

(「二木学長の医療時評(144)」『文化連情報』2017年1月号(466号)：22-26頁)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算130回、2016年分その10：7論文)

3. 私の好きな名言・警句の紹介(その145)－最近知った名言・警句

151号：2017.2.1(15頁＋論文の図のPDFファイル)

1. 論文：今後の超高齢・少子社会を複眼的に考える－医療・社会保障改革を冷静に見通すための前提

(「二木学長の医療時評(145)」『文化連情報』2017年2月号(467号)：8-15頁)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算131回、2016年分その11：9論文)

3. 私の好きな名言・警句の紹介(その146)－最近知った名言・警句

152号：2017.3.1(11頁)

1. 論文：「地域力強化検討会中間とりまとめ」をどう読むか？－「新福祉ビジョン」との異同を中心に(「深層を読む・真相を解く(60)」『日本医事新報』2017年2月4日号(4841号)：20-21頁)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算132回、2016年分その12：4論文、2017年分その1：3論文)

3. 私の好きな名言・警句の紹介(その147)－最近知った名言・警句

153号：2017.4.1(23頁＋別ファイル)

1. 論文：介護保険法等改正案を複眼的に読む

(「二木教授の医療時評」(146)『文化連情報』2017年4月号(469号)：16-20頁)

2. 新著『地域包括ケアと福祉改革』(勁草書房,2017年3月15日)の「はしがき」

3. 『地域包括ケアと福祉改革』出版記念インタビュー：医療・社会保障政策の最新動向を包括的かつ複眼的に分析

(『文化連情報』2017年4月号(469号)：8-15頁)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算133回、2016年分その13：3論文、2017年分その2：2論文)

5. 私の好きな名言・警句の紹介(その148)－最近知った名言・警句

6. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書(2017年度版、v

er.19) (別ファイル:17 院本推薦二木.doc)

参考：日本福祉大学 2016 年度学位授与式・学長式辞 (2017 年 3 月 18 日)

(日本福祉大学ホームページ：学園・大学案内→大学概要→学長メッセージ→2016 年度)

154 号:2017.5.1 (13 頁)

1. 論文：地域包括ケア強化のための医療と福祉の連携をどう進めるか？

(「深層を読む・真相を解く」(62)『日本医事新報』2017 年 4 月 1 日号 (4849 号) : 20-21 頁)

2. 追悼文：佐久間昭先生への感謝

(2017 年 4 月 22 日、東京・ガーデンパレスで開催された「佐久間昭先生を偲ぶ会」でのスピーチ用原稿)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 134 回. 2017 年分その 3 : 8 論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 149) - 最近知った名言・警句

155 号:2017.6.1 (14 頁)

1. 論文：「医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書」の複眼的検討－医師需給分科会「中間取りまとめ」との異同を中心に

(「二木教授の医療時評」(147)『文化連情報』2017 年 6 月号 (471 号) : 16-21 頁)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 135 回. 2017 年分その 4 : 6 論文)

3. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 150) - 最近知った名言・警句

156 号:2017.7.1 (13 頁)

1. 論文：トランプ政権は 2 国間交渉で日本医療に何を求めてくるか？－TPP 論争も踏まえての検討と予測

(「二木教授の医療時評」(148)『文化連情報』2017 年 7 月号 (472 号) : 18-25 頁)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 136 回. 2017 年分その 5 : 6 論文)

3. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 151) - 最近知った名言・警句

157 号:2017.8.1 (17 頁)

1. 論文：「骨太方針 2017」・「未来投資戦略 2017」の医療改革方針に新味はあるか？(「深層を読む・真相を解く」(65)『日本医事新報』2017 年 7 月 1 日号 (4862 号) : 20-21 頁)

2. 論文：「地域包括ケア研究会 2016 年度報告書」をどう読むか？(「二木教授の医療時評」(149)『文化連情報』2017 年 8 月号 (473 号) : 10-14 頁)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 137 回. 2017 年分その 6 : 8 論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 152) - 最近知った名言・警句

158号:2017.9.1 (21頁)

1. 論文:厚生労働省の「生活習慣病」の説明の変遷と問題点—用語の見直しを検討する時期(「二木教授の医療時評」(151)『文化連情報』2017年9月号(474号):16-23頁)
2. 論文:近年の医療・福祉改革はソーシャルワーカーにとって好機か?危機か?(『医療と福祉』(日本医療社会福祉協会)102号,51巻2号(2017年8月):10-13頁)
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算138回.2017年分その7:7論文)
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その153)—最近知った名言・警句

159号:2017.10.1 (19頁)

1. 論文:「地域力強化検討会最終とりまとめ」を複眼的に読む(「二木教授の医療時評」(152)『文化連情報』2017年10月号(475号):14-19頁)
2. シンポジウム・指定発言:「生活習慣病」という用語の見直しを(2017年9月15日に東京で開催された「医研シンポジウム2017:健康な社会づくりをめざして—健康自己責任論を超えて何をなすべきか—」)
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算139回.2017年分その8:9論文)
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その154)—最近知った名言・警句

160号:2017.11.1 (18頁)

1. 論文:日医総研「日本の医療に関する意識調査」を複眼的に読む—医療満足度の向上と平等医療への強い支持
(「二木教授の医療時評」(153)『文化連情報』2017年11月号(476号):8-12頁)
2. 研究会での発言:技術進歩と国民皆保険制度は両立可能
(2017年10月5日 日本医療政策機構主催第2回グローバル専門家会合・ラウンドテーブル「日本の医療システムの持続可能性へ～科学的な分析と社会・倫理的な価値基準～」)
3. m3インタビュー:二木立・日本福祉大学相談役に聞く
(2017年10月10,16,22日掲載:<https://www.m3.com/news/iryoishin/560237>)
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算140回.2017年分その9:5論文)
5. 私の好きな名言・警句の紹介(その155)—最近知った名言・警句

161号:2017.12.1 (19頁+別ファイル(16頁))

1. 論文:医薬品等の費用対効果評価の価格調整方法の大筋合意を複眼的に評価する
(「二木教授の医療時評」(154)『文化連情報』2017年12月号(477号):6-11頁)
2. 研究会報告:日本での最近の医療提供(病院)制度改革と論争
(2017年11月18日 日本福祉大学・延世大学共催「第12回日韓定期シンポジウム」)
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算141回.2017年分その10:5論文)
5. 私の好きな名言・警句の紹介(その156)—最近知った名言・警句

補. 「ニューズレター」2017年総目次（150～161号。全12号。医療経済・政策学関連の英語論文抄訳の目次、名言・警句の人名索引付き）（別ファイル：17 二木 NL 目次.doc）

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2017(150～161号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計 82 論文 (累計 913 論文)

150号(2017.1.1)(通算130回, 2016年分その10:7論文)

○終末期における病院での効果のない治療：問題の広がりについての体系的文献レビュー

Carodona-Morrell M, et al: Non-beneficial treatments in hospital at the end of life: a systematic review on extent of the problem. *International Journal for Quality in Health Care* 28(4):456-469, 2016. [文献レビュー]

○高齢者に対する潜在的に不適切な薬物療法が医療利用と医療費に与える影響の体系的文献レビュー

Hyttinen V, et al: A systematic review of the impact of potentially inappropriate medication on health care utilization and costs among older adults. *Medical Care* 54(10):950-964, 2016. [文献レビュー]

○救急外来利用を減らすための介入：文献レビューのレビュー

Van den Heede K, et al: Interventions to reduce emergency utilization: A review of reviews. *Health Policy* 120(12):1337-1349, 2016. [文献レビュー]

○終末期の軌道：[イスラエルの]経年的医療サービス消費データの対照調査

Cohen -Mansfield J, et al: Trajectories at the end of life: controlled investigation of longitudinal health services consumption data. *Health Policy* 120(12):1395-1403, 2016. [量的調査]

○韓国における人口高齢化と医療費

Hyun K-R, et al: Population aging and healthcare expenditure in Korea. *Health Economics* 25(10):1239-1251, 2016. [量的研究]

○何が公的医療費増加をもたらすのか？スイスの1970～2012年の県（間医療費格差）から得られたエビデンス

Braendle T, et al: What drives public health care expenditure growth? Evidence from Swiss cantons, 1970-2012. *Health Policy* 120(9):1051-1060, 2016. [量的研究]

○[スイスにおける4種類の医療]技術の内生的導入と医療費

Lamiraud K, et al: Endogenous technology adoption and medical costs. *Health Economics* 25(9):1123-1147, 2016. [量的研究]

151号(2017.2.1)(通算131回, 2016年分その11:9論文)

○中年女性によるインフォーマルケア提供面での社会経済的[状況の]ジェンダー内ギャップ：日本の全国調査から得られたエビデンス

Tokunaga M (徳永睦), Hashimoto H (橋本英樹): The socioeconomic within-gender gap in informal caregiving among middle-aged women: Evidence from a Japanese nationwide survey. *Social Science & Medicine* 173:48-53, 2016. [量的研究]

○費用抑制と医療連携の作り話

McWilliams JM: Cost containment and the tale of care coordination. NEJM 375(23):2218-2221, 2016. [評論]

○医療における質に応じた支払いの効果：メタアナリシスとアウトカムのバラツキの探索

Ogundeji YK, et al: The effectiveness of payment for performance in health care: A meta-analysis and exploration of variation in outcomes. Health Policy 120(10):1141-1150, 2016. [文献レビュー]

○入院部門における質に応じた支払い：OECD加盟14か国の34のP4Pプログラムのレビュー

Milstein R, et al: Pay for performance in the inpatient sector: A review of 34 P4P programs in OECD countries. Health Policy 120(10):1125-1140, 2016. [文献レビュー]

○[イタリアにおける] 時間外に一般医の診療を受けた後救急外来に紹介される患者の予測因子

Scapinello MP, et al: Predictors of emergency department referral in patients using out-of-hours primary care services. Health Policy 120(9):1001-1007, 2016. [量的研究]

○[一般医による] ゲイトキーピング方式は学歴の異なる患者間の医療受診行動に影響を与えるか？ヨーロッパ13か国の分析

Schulz M: Do gatekeeping schemes influence health care utilization behavior among patients with different educational background? An analysis of 13 European countries. International Journal of Health Services 46(3):448-464, 2016. [政策研究・半定量的研究]

○[医療機器における] 医療イノベーションと医療制度の持続可能性：医療における技術進歩についての歴史的展望

Lehoux P, et al: Medical innovation and the sustainability of health systems: A historical perspective on technological change in health. Health Services Management Review 29(4):115-123, 2016. [歴史研究・概説]

○分権化が健康に関連した平等に与える影響：エビデンスの文献レビュー

Sumah AM, et al: The impacts of decentralisation on health-related equity: A systematic review of the evidence. Health Policy 120(10):1183-1192, 2016. [文献レビュー]

○自由な選択と患者の最良の利益

Bullock EC: Free choice and patient best interests. Health Care Analysis 24(4):374-392, 2016. [理論研究]

152号(2017.3.1)(通算132回)(2016年分その12:4論文)

○アメリカの1996-2013年の対人医療・公衆衛生費用

Dieleman JL, et al: US spending on personal health care and public health, 1996-2013. JAMA 316(24):2627-2646, 2016. [量的研究]

○[アメリカ]病院所有のスキルド・ナーシングホームは[独立型ナーシングホームに比べ]より良い急性期後ケアを提供しているか？

Rahman M, et al: Do hospital-owned skilled nursing facilities provide better post-acute care quality? *Journal of Health Economics* 50:36-46, 2016. [量的研究]

○ **【アメリカにおける】 病院・医師統合が【患者の】 入院選択に与える影響**

Baker LC, et al: The effect of hospital/physician integration on hospital choice. *Journal of Health Economics* 50:1-8, 2016. [量的研究]

○ **【アメリカの】 介護者の介護支援器機に対する支払い意思【についての全国ウェブ調査】**

Schulz R, et al: Caregivers' willingness to pay for technologies to support caregiving. *Gerontologist* 56(5):817-829, 2016. [量的研究]

(2017 年分その 1:3 論文)

○ **【ドイツの】 病院の質公開ではランキング結果が一致しないことを示している**

Emmert M, et al: Public reporting of hospital quality shows inconsistent ranking results. *Health Policy* 121(1):17-26, 2017. [量的研究]

○ **医療の再商品化？1980-2005 年のスウェーデンにおける、利用者負担と医療アクセス面での不平等【の変化】の事例研究**

Farrants K, et al: The re Commodification of healthcare? A case study of user charges and inequalities in access to healthcare in Sweden 1980-2005. *Health Policy* 121(1):42-49, 2017. [量的研究]

○ **医療政策のエビデンスの国際的一般化可能性：【薬剤自己負担】 政策変化後の服薬遵守の 2 国間比較**

Sinnott S-J, et al: The international generalisability of evidence for health policy: A cross country comparison of medication adherence following policy change. *Health Policy* 121(1):27-34, 2017. [国際比較・量的研究]

153 号(2017.4.1) (通算 133 回)(2016 年分その 13:3 論文)

○ **成功した【と報告された】 ケアマネジメントプログラムの再現性を検証する：【新たな】 ランダム化試験の結果と【以前の試験の】 結果が再現されなかった理由の推定**

Peterson GG, et al: Testing the replicability of a successful care management program: Results from a randomized trial and likely explanation for why impacts did not replicate. *Health Services Research* 51(6):2115-2139, 2016. [量的研究]

○ **統合ケアを測定する諸尺度：測定特性の体系的文献レビュー**

Bautista MAC, et al: Instruments measuring integrated care: A systematic review of measurement properties. *The Milbank Quarterly* 94(4):862-917, 2016. [文献レビュー]

○ **先進的画像診断【CTとMRI】の参照価格、患者負担と保険者の費用**

Robinson JC, et al: Reference pricing, consumer cost-sharing, and insurer spending for advanced imaging tests. *Medicare* 54(12):1050-1055, 2016. [量的研究]

(2017 年分その 2:2 論文)

○ **スイスにおける死亡前 12 か月間の医療費の地域的バラツキ：保険請求データを用いての小地域分析**

Panczak R, et al: Regional variation of cost of care in the last 12 months of life in Switzerland: Small-area analysis using insurance claims data. *Medical Care* 55

(2):155-163, 2017. [量的研究]

○質に応じた支払い：落胆させる結果あるいは〔諸研究間の〕隠れた不均一？

Markovitz AA, et al: Pay-for-performance: Disappointing results or masked heterogeneity? Medical Care Research and Review 74(1):3-78, 2017. [文献レビュー]

154号(2017.5.1)(通算134回)(2017年分その3:8論文)

○健康の社会的決定要因：警告とニュアンス

Fuchs VR: Social determinants of health - Caveats and nuances. JAMA 317(1):25-26, 2017. [評論]

○〔アメリカの〕メディケア・メディケイド・サービスセンターの質に応じた支払い方式がセーフティネット病院と低所得・医学的脆弱人口に与える意図せざる影響

Fos EB: The unintended consequences of the Centers for Medicare and Medicaid Services pay-for-performance structures on safety-net hospitals and the low-income, medically vulnerable population. Health Services Management Research 30(1):10-15, 2017. [文献レビュー・評論]

○所得、経済的バリアが医療と公的医療費に与える影響：28か国のマルチレベル分析

Kim TJ, et al: Income, financial barriers to health care and public health expenditure: a multilevel analysis of 28 countries. Social Science & Medicine 176:158-165, 2017. [国際比較研究・量的研究]

○オランダにおける〔免責制の〕自己負担増加と専門医に紹介されても受診しない患者割合の変化

van Esch TEM, et al: Increased cost sharing and changes in noncompliance with specialty referrals in the Netherlands. Health Policy 121(1):180-188, 2017. [量的研究]

○外来サービスの効果と効率の改善：プライマリケアとセカンダリケアのインターフェイスへの介入のスコーピングレビュー

Winpenny EM, et al: Improving the effectiveness and efficiency of outpatient services: a scoping review of interventions at the primary-secondary care interface. Journal of Health Services Research & Policy 22(1):53-64, 2017. [文献レビュー]

○ヨーロッパ5か国における病院とGPの競争促進政策

Siciliani L, et al: Policies towards hospital and GP competition in five European countries. Health Policy 121(1):103-110, 2017. [国際比較研究]

○〔アメリカの病院のサービス〕料金表のミステリー：病院の公式価格と実際に患者が支払う額との関係を検証する

Batty M, et al: Mystery of the chargemaster: Examining the role of hospital list prices in what patients actually pay. Health Affairs 36(4):689-696, 2017. [量的研究]

○秘密の医薬品価格割引についての支払者の経験：北欧、ヨーロッパ及び豪州における公的または法定医療制度の調査

Morgan SG, et al: Payers' experiences with confidential pharmaceutical price discounts: a survey of public and statutory health systems in North America, Europe, an

d Australasia. Health Policy 121(4):354-362, 2017. [質的研究]

155号(2017.6.1)(通算135回)(2017年分その4:6論文)

○イギリスの成人入所ケアの疑似市場：営利、非営利〔民間〕、公的部門の施設ケアとナーシングホームのケアの質に差はあるか？

Barron DN, et al: The quasi-market for adult residential care in the U.K.: Do for-profit, not-for-profit or public sector residential care and nursing homes provide better quality care? Social Science & Medicine 179:137-146, 2017. [量的研究]

○在宅ケア利用の展開。政策と変化しつつあるオランダにおける自立した地域居住成人の在宅ケアの利用

Plaisier I, et al: Developments in home-care use. Policy and changing community-based care use by independent community-dwelling adults in the Netherlands. Health Policy 121(1):82-89, 2017. [量的研究]

○〔スウェーデンにおける〕人間中心医療の健康アウトカムに対する効果—急性冠症候群患者でのランダム化比較試験

Pirhonen L, et al: Effects of person-centered care on health outcomes - A randomized controlled trial in patients with acute coronary syndrome. Health Policy 121(1):169-179, 2017. [量的研究]

○〔アメリカの〕ホスピスサービスの長期利用は高〔終末期〕医療費地域では少ない終末期医療費と関連している

Wang S, et al: Longer periods of hospice service associated with lower end-of-life spending in regions with high expenditures. Health Affairs 36(2):328-336, 2017. [量的研究]

○患者の入院体験〔満足度〕は少し改善したが、〔アメリカの〕メディケア・インセンティブ〔・プログラム〕が意味のある成果をあげたエビデンスはない

Papanicolas I, et al: Patient hospital experience improved modestly, but no evidence Medicare Incentives promoted meaningful gains. Health Affairs 36(1):133-140, 2017. [量的研究]

○医療サービスの現物給付と償還払いは医療サービス利用と健康アウトカムに影響するか？日本での自然実験

Takaku R(高久玲音), et al: Do benefit in kind or refunds affect health services utilization and health outcomes? A natural experiment from Japan. Health Policy 121(5):534-542, 2017. [量的研究]

156号(2017.7.1)(通算136回)(2017年分その5:6論文)

○〔病院とプライマリケアの〕垂直統合は〔ポルトガルの病院の退院後30日以内の予定外の〕再入院を減らせるか？差の差法

Lopes S, et al: Can vertical integration reduce hospital readmissions? A difference-in-difference approach. Medical Care 55(5):506-513, 2017. [量的研究]

○〔アメリカでの〕医師グループの組織的統合は患者の視点からは医療の統合を保証しない

可能性がある

Kerrisey MJ, et al: Medical group structural integration may not ensure that care is integrated, from the patient's perspective. Health Affairs 36(5):885-892, 2017. [量的研究]

○ [アメリカの] 病院統合は費用を減らすか？

Schmitt D: Do hospital mergers reduce costs? Journal of Health Economics 52: 74-94, 2017. [量的研究]

○ [アメリカにおける病院と医師グループの] 垂直統合はメディケア加入者の医療の量と費用にどのように影響するか？

Koch TG: How vertical integration affects the quantity and cost of care for Medicare beneficiaries. Journal of Health Economics 52:19-32, 2017. [量的研究]

○ヨーロッパの病院の費用・質関係：体系的文献レビュー

Sogaard R, et al: The cost-quality relationship in European hospitals: a systematic review. Journal of Health Services Research & Policy 22(2):126-133, 2017. [文献レビュー]

○ドイツにおける病院開設者間の補助金格差を説明する

Pilny A: Explaining differentials in subsidy levels among hospital ownership types in Germany. Health Economics 26(5):566-581, 2017. [量的研究]

157号(2017.8.1)(通算137回)(2017年分その6:8論文)

○ [ヨーロッパ5か国における] 病院の冠動脈バイパス術の手術数と死亡率：国際比較により安全域 [最低手術数] を決める

Gutacker N, et al: Hospital surgical volumes and mortality after coronary artery bypass grafting: Using international comparisons to determine a safe threshold. Health Services Research 52(2):863-876, 2017. [量的研究・国際比較研究]

○ [アメリカにおける] 急性期病院および急性期後医療施設 [ナーシングホーム] の特性の大腿骨骨折による入院後のアウトカムに対する寄与を比較する

Neuman M, et al: Comparing the contributions of acute and postacute care facilities to outcomes after hospitalization for hip fracture. Medical Care 55(4):411-420, 2017. [量的研究]

○ [アメリカで] 新規に糖尿病と診断されたメディケア加入者に対する糖尿病自己管理訓練の1年後のアウトカム

Strawbridge LM, et al: One-year outcomes of diabetes self-management training among Medicare beneficiaries newly diagnosed with diabetes. Medical Care 55(4):391-397, 2017. [量的研究]

○ [アメリカにおける] プライマリケア労働力の経時的変化と患者アウトカムとの関連

Chang C-H, et al: Association between temporal changes in primary care workforce and patient outcomes. Health Services Research 52(2):634-655, 2017. [量的研究]

○インフォーマルケアとフォーマルケア：認知症者のケアで代替か補足か？ヨーロッパ8か国の実証的エビデンス

Bremer P, et al: Informal and formal care: Substitutes or complements in care for people with dementia? Empirical evidence for 8 European countries. *Health Policy* 121(6):613-622, 2017. [量的研究・国際比較研究]

○ドイツの2013年 Pflege-Bahr 改革の文脈での補足的長期ケア保険の新興市場

Nadash P, et al: The emerging market for supplemental long term care insurance in Germany in the context of the 2013 Pflege-Bahr reform. *Health Policy* 121(6):588-593, 2017. [政策研究]

○地域基盤の長期ケアから施設ケアへの移行：[社会保険法] 第1915条c項の除外プログラム利用者とPACEE利用者との比較

Segelman M, et al: Transitioning from community-based to institutional long-term care: Comparing 1915(c) waiver and PACE enrollees. *The Gerontologist* 57(2):300-308, 2017. [量的研究]

○医療におけるエイジズム [高齢者差別] と自律：[フェミニズムの] 関係性のレンズ [関係依存的自律] を通しての説明

Pritchard-Jones L: Ageism and autonomy in health care: Explorations through a relational lens. *Health Care Analysis* 25(1):72-89, 2017 [理論研究]

158号(2017.9.1)(通算138回)(2017年分その7:7論文)

○ [カナダでは] 「新しい」治療への選好は曖昧さが分かると減少する

Harrison M, et al: Preferences for "new" treatments diminish in the face of ambiguity. *Health Economics* 26(6):743-752, 2017 [量的研究]

○オーストラリアの [1人当たり] 医療費の増加要因としての所得と技術

You X, et al: Income and technology as drivers of Australian healthcare expenditures. *Health Economics* 26(7):853-862, 2017. [量的研究]

○異なる意思決定システムにおける医療技術導入の決定要因：体系的文献レビュー

Varabyova Y, et al: The determinants of medical technology adoption in different decisional systems: A systematic literature review. *Health Policy* 121(3):230-242, 2017 [文献レビュー]

○高齢化社会と [イングランドにおける] 救急入院

Wittenberg R, et al: The aging society and emergency hospital admissions. *Health Policy* 121(8):923-928, 2017. [量的研究]

○ [デンマークにおける初回入院とは] 別の病院への急性期再入院の費用－病院のタイプで影響は変わるか？

Dahl CD, et al: The costs of acute readmissions to a different hospital - Does the effect vary across provider type? *Social Science & Medicine* 183:116-125, 2017. [量的研究]

○不健康な高カロリー食品と砂糖入り飲料への課税：13のケーススタディの政策内容と政策的文脈の観察から得られたパターンの概観

Hagenaar LL, et al: The taxation of unhealthy energy-dense foods (EDFs) and sugar-sweetened beverages (SSBs): An overview of patterns observed in the policy content

and policy context of 13 case studies. *Health Policy* 121(8):887-894, 2017. [政策比較研究]

○医療マネジメント領域での [英文学術] 雑誌ランキングと今後の研究方法：国際的視角

Meese KA, et al: Journal rankings and directions for future research in health care management: A global perspective. *Health Services Management Research* 30(2):129-137, 2017. [分類不能]

159号(2017.10.1)(通算139回)(2017年分その8:9論文)

○ [日本を含む9つの国・地域の] 死亡前12か月間の終末期医療費は以前に報告されたよりも少ない

French EB, et al: End-of-life medical spending in last twelve months of life is lower than previously reported. *Health Affairs* 36(7):1211-1217, 2017. [国際比較研究・量的研究]

○ヨーロッパ16か国とイスラエルにおける終末期ケア、自己負担、及び死亡場所

Orlovic M, et al: Analysis of end-of-life care, out-of-pocket spending, and place of death in 16 European countries and Israel. *Health Affairs* 36(7):1201-1201, 2017. [国際比較研究・量的研究]

○アメリカにおける終末期介護の全国像

Ornstein K, et al: A national profile of end-of-life caregiving in the United States. *Health Affairs* 36(7):1184-1192, 2017. [量的研究]

○ [アイルランドの高齢者の] 今まで生きた期間、残された期間、または疾病を計算する？ 年齢、死亡までの接近、疾病及び処方薬費用

Moore PV, et al: Counting the time lived, the time left or illness? Age, proximity to death, morbidity and prescribing expenditures. *Social Science & Medicine* 184:1-14, 2017. [量的研究 (計量経済学)]

○人口高齢化が医療費に与える影響：イタリアのデータを用いたベイズ流VAR [ベクトル自己回帰モデル] 分析

Loprete M, et al: The effects of population ageing on health care expenditure: A Bayesian VAR analysis using data from Italy. *Health Policy* 121(6):663-674, 2017. [量的研究 (計量経済学)]

○医療費が健康アウトカムに与える影響：メタ回帰分析

Gallet CA, et al: The impact of healthcare spending on health outcomes: A meta-regression analysis. *Social Science & Medicine* 179:9-17, 2017. [文献レビュー]

○医療費と所得：グローバルな視点

Baltagi BH, et al: Health care expenditure and income: A global perspective. *Health Economics* 26(7):863-874, 2017. [量的研究 (計量経済学)]

○「平均を超えた」所得と健康の関連： [イングランドにおいて] バイオマーカーから得られた新しいエビデンス

Carrieri V, et al: The income-health relationship 'beyond the mean': New evidence from biomarkers. *Health Economics* 26(7):937-956, 2017. [量的研究 (計量経済学)]

○政策と制度の医療費に対する役割

Maisonneuve CL, et al: The role of policy and institutions on health spending. *Health Economics* 26(7):834-843, 2017. [量的研究 (計量経済学)]

160号(2017.11.1)(通算140回)(2017年分その9:5論文)

○健康増進・教育：加齢プロセスに焦点を当てたプログラムの効果の研究

Lima KC, et al: Health promotion and education: A study of the effectiveness of programs focusing on the aging process. *International Journal of Health Services* 47(3):550-570, 2017. [文献レビュー]

○【日本における】子どもの外来医療の自己負担引き下げが入院医療に与える効果

Kato H(加藤弘隆)、Goto R(後藤励): Effect of reducing cost sharing for outpatient care on children's inpatient services in Japan. *Health Economics Review* 7:28, 2017 (Open Access). [量的研究]

○【アメリカでは】低価格だが頻度の多い医療サービスが不必要な医療費の大半を占めている

Mafi JN, et al: Low-cost, high-volume health services contribute the most to unnecessary health spending. *Health Affairs* 36(10):1701-1704, 2017. [量的研究]

○地域に在住する高齢者の潜在的に不適切な薬剤服用の決定要因

Miller GE, et al: Determinants of potentially inappropriate medication use among Community-dwelling older adults. *Health Services Research* 52(4):1534-1549, 2017. [量的研究]

『医療における無駄な消費と取り組む』

OECD: *Tackling Wasteful Spending on Health*, 2017, 301pages

161号(2017.12.1)(通算141回)(2017年分その10:6論文)

○ヨーロッパとアメリカのジェネリック医薬品市場を比較する：価格、量、そして消費

Wouters OJ, et al: Comparing generic drug markets in Europe and the United States: Prices, Volumes, and spending. *The Milbank Quarterly* 95(3):554-601, 2017. [国際比較]

○個別化医療とオーファンドラッグに対する国際的給付・価格付け戦略の文献レビュー

Degtiar I: A review of international coverage and pricing strategies for personalized medicine and orphan drugs. *Health Policy* 121(12):1240-1248, 2018. [文献レビュー]

○【アメリカにおける】参照価格と医薬品の選択・消費との関連

Robinson JC, et al: Association of reference pricing with drug selection and spending. *NEJM* 377(7):658-665, 2017. [量的研究]

○【アメリカにおける】医療保険加入と健康—最近のエビデンスが我々に教えていること

Sommers BD, et al: Health insurance coverage and health - What the recent evidence tells us. *NEJM* 377(6):586-593, 2017. [文献レビュー]

○イングランドでの2010年以降の医療・社会ケア統合のガバナンス：大きな期待はまたもや

実現しない？

Exworthy M, et al: The governance of integrated health and social care in England since 2010: great expectations not met once again? Health Policy 121(11):1124-1130, 2017. [政策研究]

○ [アメリカの] 垂直統合についての一医師の見解

Berenson RA: A physician's perspective on vertical integration. Health Affairs 36(9):1585-1590, 2017. [評論]

「私の好きな名言・警句の紹介」2017年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

大山康晴(150), 上田敏(150), イチロー(151, 158), 尾本恵一(152), 落合恵子(152), 生島ひろし(152), 伊東光晴(152), 明仁天皇(152, 155), 宇沢弘文(153), 岡田節人(153), 池上彰(153, 153), デュフロ, E(155), 赤川次郎(155), 「ありがとう、トニ・エルドマン」(155), ウォーラーステイン, I(156), 秋元康(157), ウィルバーフォース, W(157=83), 岩瀬仁紀(158), 伊藤公一朗(158),

上田敏(158), 烏賀陽(うがや) 弘道(159), 糸井重里(160), 天野浩(160), アレン, W(160), 安倍晋三首相の周辺(160), 小熊英二(160), 小野善彦(161)

か行

黒崎亜弓(150), 琴奨菊(151), 加藤陽子(151), 熊谷晋一郎(151), 金子兜太(151), 川上あずさ(152), 草薙剛(152), 加藤出(153), 香取照幸(154), 岸信介(154), 是枝裕和(155), 鎌田慧(157, 157), 木村凌二(157), 木田元(157=44), 川北義則(157), 岸本葉子(157), ガンジー(158), 加賀美幸子(160, 161), 川村一彦(161), ゴア, A(161)

さ行

城山三郎(151=101), 「作業療法」(151=54), ソロー, D(152), 坂村健(152), 瀬川至朗(154), 坂上忍(154), 篠原有司男(155), 澤田昭夫(156), 佐藤優(156), スペクター, D(158), 釈徹宗(159), 瀬長亀次郎(160), 島田裕巳(160), 坂本龍一(161)

た行

鶴見俊輔(150), 所ジョージ(151), 田中角栄(151), 外山滋比古(152), 竹下登(152), 寺山修司(153), 寺島実郎(153), 田中小枝(154), 立岩真也(155), 大鵬(155), 田山輝明(157), 田原俊彦(157), 津川友介(158), 千葉聡(159), 谷口稜暉(160)

な行

仲代達矢(151), 二木 立(152, 153, 154, 155, 157, 157), 西成活裕(155, 161), 納谷幸喜(155), 野口悠紀雄(156), 中井貴一(156), 中室牧子(158), 中川俊男(158), 野村豊子(158), 永田和宏(159)

は行

浜田宏一(150), 久山宏一(150), 日比喜高(151), 長谷川真理子(152), バーンスタイン, C(154), 春成秀爾(154, 154), 藤村俊二(154), 羽生結弦(155, 155), 帚木蓬生(157), 晴山陽一(157), ビナード, A(157), 原昌平(158, 158), 樋渡貴晴(158), 橋爪大三郎(158), 原田圀男(158, 159), 東山紀之(159, 160), 福山雅治(159)

ま行

三井住友海上(150), 三谷太一郎(155), 宮下奈都(155), 松坂大輔(155=29), 森永卓郎(155), 南博(156), 村上春樹(156), 前川喜平(157), 美濃部達吉(157), 水谷豊(157), 牧原出(158), ミュルダール, G(159=9), マーモット, M(159), 村田諒太(161), 松田晋哉(161), 「女神の見えざる手」

や行

山崎敏廣(152), 横尾忠則(152, 152, 152), 山岸俊男(152), 山田朝夫(153), 山口智充(155), 吉見俊哉(156), 山田風太郎(159), 八幡和郎(161=11)

ら行

渡辺和子(151), ローマー, MI(154), ルリア, AR(161)

わ行

鷺田清一(160)